

(12)非常勤講師等

① 非常勤講師

ア 大学院学校教育研究科

授業科目名	担当時間数
教育課程行政特論	30
特別な教育的ニーズのある児童生徒の理解	6
心理実践実習Ⅲ	20
心理実践実習Ⅴ	20
心理学統計法特論Ⅰ	30
心理学統計法特論Ⅱ	30
精神医学特論/精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	30
産業・労働心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	30
心身医学特論	30
課題研究フィールドワーク(臨床心理実習Ⅰ・心理実践実習Ⅰ)	20
英語文化圏文学特論/英語文学特論	30
地域環境・地誌学特論	30
数学教育学基礎論	30
地学教材研究	14
金属加工学特論	30
住居学演習	30
指揮法研究	16
木工芸研究	30
日本語教育学特論	30
日本語学特論	30
地域と伝統文化	6
主体的な子どもを育む授業づくりの理論と実際	8
情報化社会における教育	18
教科におけるプログラミング教育	2
学校教育と統計・評価	4
教科等の学習活動における困難の実態と支援	4
学習活動に困難のある子どものアセスメントと支援	8
時間数計	566

イ 学校教育学部

授業科目名	担当時間数
社会教育計画A	30
社会教育計画B	30
学校図書館メディアの構成	30
情報メディアの活用	10
総合・生活(A・Bグループ)/総合・生活A	14
総合・生活(C・Dグループ)	16
総合・生活(免P)/総合・生活A(免P)	12
生活科指導法(A・Bグループ)	26
生活科指導法(C・Dグループ)/総合・生活科指導法A	26
総合・生活科指導法A(免P対象)/生活科指導法(免P)	20
プログラミング教育応用演習	30
算数・数学の教材開発と授業構想	14
学習活動に困難のある子どもの教材づくり	8
情報と職業	28
情報科指導法(授業論)/情報科指導法(授業・教材論)	30
道徳教育論	16
教育本質論	30
生涯学習概論B	30
教科内容構成「道徳」	30
保育・表現の指導法	30
保育・健康の指導法	30
身体表現の基礎	16
乳児保育Ⅰ	30
乳児保育Ⅱ	15
養護内容	30
保育者論	30
心理学研究法	30
心理学統計法	30
教育評価の方法と技術(心理的アセスメント)	30
福祉心理学	30
精神医学入門(精神疾患とその治療)	30
産業・組織心理学	30
初等国語科指導法(A・Bグループ)	12
初等国語科指導法(C・Dグループ)	12
中等国語科指導法(課程論)	30
国語学講読A	30
国語学演習B	30
コミュニケーション英語AⅡ(Dグループ)	32
コミュニケーション英語BⅠ(Cグループ)	32
コミュニケーション英語BⅡ(Bグループ)	32
コミュニケーション英語CⅠ(Aグループ)	32
コミュニケーション英語CⅡ(Cグループ)	32
コミュニケーション英語CⅢ(Aグループ)	32
コミュニケーション英語CⅣ(Bグループ)	32
コミュニケーション英語CⅤ(Dグループ)	32
英語コミュニケーション(ライティング)/英語コミュニケーション演習(ライティング)	32
英語学概論	30
英語文化圏文学/英語文学概論	30
英文学演習/英語文学演習	30
比較文化	30
人文地理学概説	30
地理情報学	30
地域環境学	30
哲学概説	30
政治学概説	28
社会学概説	30
ヨーロッパ史認識論	30
算数科指導法(免P)	15
算数科指導法(ABグループ)	15
算数科指導法(CDグループ)	15
数学科指導法	20
数学教材開発論	30
計算機数学演習	15
算数(免P)	32
物理学	14
物理学実験	28
化学	10
化学実験	20
地学	14
地学実験	28
音楽	52
音楽(免P)	22
日本音楽B(日本の伝統的な歌唱を含む。)	32
日本音楽AⅠ	32
工芸表現(木工)	30
美術史論	30
ボールゲーム	30
体育	4
ダンス	20
金属加工法	30
機械工学概論	30
機械工学実習	30
被服学	15
調理の理論と実習	45
住居学(製図を含む。)	10
時間数計	2,189

② 教員養成実地指導講師

ア 教職に関する科目（教育実習の事前及び事後指導に関するものは除く。）

授業科目名	授業の趣旨・概要	担当時間数
道徳教育論	道徳教育に関するさまざまな理論と実践を取り上げ、検討する。講義形式で行うが、ビデオ視聴や話し合い、演習の時間も設ける。	2
生活科指導法	生活科の授業づくり	6
総合的な学習の時間の指導法	「総合的な学習の時間」の指導の実際について、主に上越教育大学附属中学校における総合的な学習の時間の運用と具体的な指導の在り方について講義・演習を行う。	6
学習場面臨床学	子どもの学びの成り立ち・課程と、そこにおける教師の関わりについて実践的に理解	4
表現・人間学基礎論	表現行為を通じた子どもたちの学びと自己の成り立ちの過程の実際と、そこにおける教師の姿勢、視点、思考、関わりについて各教科、道徳、総合的な学習の時間等の事例を通して実践的に理解する。	4
特別支援教育基礎（介護等体験の指導内容を含む）	特別支援教育の理念と実際についての基礎的事項及び介護等体験の理念と体験を実施する特別支援学校や社会福祉サービスの現状について理解を深める。	4
学習活動に困難のある子どもの教材づくり	学習活動における困難のある子どもの教材、支援機器及び教材づくりの実際に関する基礎的な知識を得る。	10
障害児保育	様々な障害について理解するとともに、障害のある幼児の保育の実際、保護者への支援等、障害児保育に関する基礎的な知識を得る。	12
初等国語科指導法	小学校の国語科教材の見方・扱い方について実践的な立場から説述する。	4
初等社会科指導法	現職教員の立場から講義をしていただき、社会科の特質を理論的かつ実践的にとらえ、小学校社会科教育実践のための基礎的かつ具体的な理解を得ることを目標とする。	12
社会科・公民科教育学基礎	租税教室により、税制度を学生に理解させ、社会科の授業構想を行うことを目的とする。	4
算数科指導法	算数的活動を中心に据えた算数の指導展開の実際	12
数学科指導法	「数学的活動」を中心に据えた数学の指導と評価の実際	6
数学学習過程論	数学的内容に対する生徒の理解を促す活動や課題の検討	8
初等音楽科指導法	「生活科」で子どもが動物飼育から感じ取った感情を歌にする活動から子どもの感性が育まれる学習原理について解説をしていただく	12
中等音楽科指導法（実践応用論）	中等音楽科の教育現場における授業づくりに関する実践的な助言・指導をいただく（歌唱指導、指導案作成に焦点をあてて）。	10
中等音楽科指導法（授業論）	中等音楽教育における今日的な課題に対応する実践的な助言・指導をいただく。	10
図画工作科指導法	美術（図画工作）教育の本質を、子どもの実態、造形文化、教科内容の教材化、指導法に関する基礎的能力を身につける。	12
初等体育科指導法	現場実践を踏まえた授業補助（教育実習の事前および事後）	8
初等家庭科指導法	教育現場における小学校家庭科の指導について教授すると共に、教育現場管理職の視点から家庭科指導法への提言を行う。	4

※教育実習の事前及び事後指導に関するものは除く。

イ 教科に関する科目

授業科目名	授業の趣旨・概要	担当時間数
総合・生活	生活科・総合的な学習の時間の実践例	6

ウ 教育実習の事前及び事後指導に関する科目

授業科目名	授業の趣旨・概要	担当時間数
保育実習指導Ⅰ	保育所実習に必要な乳幼児の保育について実践的な理解を深める。	4
保育実習指導Ⅱ	知的障害者施設の実態と具体的な支援法の理解を図る。	6
保育実習指導Ⅲ	保育所実習に必要な乳幼児の保育について実践的な理解を深める。	8
保育実習指導Ⅳ	早期療育施設の実態と具体的な支援法の理解を図る。	2
教育実地研究Ⅱ	教育実習に必要な理論、技術、方法の習得を通じて、実践的指導力の基礎を培う。教育実習ルーブリックのSTAGE1の達成を目標とする。	54

③ ティーチングアシスタント

大学院学生

(令和3年度)

授業科目名	授業担当教員	学期	曜日 時限	担当時間数
体験学習（共通）	五百川 裕 他	通年	不定期	30時間
体験学習（Aグループ）	五百川 裕 他	通年	不定期	22時間
体験学習（Dグループ）	東原 貴志 他	通年	不定期	20時間
体験学習（Hグループ）	長谷川 正規 他	通年	不定期	20時間
生活の中の科学	東原 貴志 他	通年	金5	15時間
プログラミング教育基礎演習	大森 康正 他	通年	集中	27時間
表現・相互行為教育演習	榊原 潔 他	前	火1	10時間
教養スポーツ（ABグループ）	榊原 潔 他	前	水2	16時間
教養スポーツ（CDグループ）	榊原 潔 他	前	木2	16時間
スノースポーツ	榊原 他	後	集中	30時間
ボールゲーム	榊原 潔 他	後	金2	15時間
国際理解教育入門	釜田 聡	前	月3	8時間
教育情報演習（Bグループ）	大森 康正 他	後	金3	24時間
教育情報演習（Cグループ）	高野 浩志	後	水2	30時間
教育情報演習（Dグループ）	石川 真	後	木2	30時間
音楽	長谷川 正規 他	通年	木3	80時間
図画工作（Aグループ）	松尾 大介 他	前	金3	30時間
図画工作（Bグループ）	松尾 大介 他	前	木1	30時間
図画工作（Cグループ）	松尾 大介 他	前	火3	29時間
図画工作（Dグループ）	松尾 大介 他	前	木4	30時間
体育	池川 茂樹 他	通年	火4火1	43時間
算数科指導法（ABグループ）	高橋 等 他	前	木2	13時間
算数科指導法（CDグループ）	高橋 等 他	前	火2	14時間
初等音楽科指導法（ABグループ）	尾崎 祐司, 時得 紀子	前	月2	30時間
初等音楽科指導法（CDグループ）	尾崎 祐司, 時得 紀子	前	木2	30時間
図画工作科指導法（ABグループ）	五十嵐 史帆 他	前	火3	30時間
図画工作科指導法（CDグループ）	五十嵐 史帆 他	前	木1	30時間
初等体育科指導法（Aグループ）	周東 和好 他	前	月1	30時間
初等体育科指導法（Dグループ）	周東 和好 他	前	水1	30時間
初等家庭科指導法（ABグループ）	小高 さほみ	前	火1	14時間
初等家庭科指導法（CDグループ）	佐藤 ゆかり	前	火1	14時間
コミュニケーション英語B I	野地 美幸	前	木2	30時間
コミュニケーション英語A II	野地 美幸	後	木2	30時間
小学校英語指導法（Aグループ）	大場 浩正	前	火2	30時間
小学校英語指導法（Bグループ）	北條 礼子	前	火2	30時間
小学校英語指導法（Cグループ）	大場 浩正	前	火4	30時間
小学校英語指導法（Dグループ）	北條 礼子	前	火4	30時間

授業科目名	授業担当教員	学期	曜日 時限	担当時間数
心理学実験	飯塚 有紀 他	後	木3・4	40 時間
書写書道	押木 秀樹	後	月 3	20 時間
書写書道Ⅱ	押木 秀樹	前	月 3	20 時間
中等英語科指導法（授業論）	大場 浩正	後	火 2	20 時間
英語学演習	野地 美幸	前	水 2	20 時間
計算機数学演習	林田 秀一 他	後	木 4	20 時間
物理学実験	小川 佳宏 他	後	月3.4	20 時間
化学実験	下村 博志 他	後	火4.5	15 時間
生物学実験	中村 雅彦, 谷友和	前	火1.2	20 時間
指揮法	長谷川 正規	前	木 5	20 時間
造形基礎 A C	洞谷 亜里佐 他	前	月 5	20 時間
造形基礎 B D	松尾 大介, 兪期天	前	月 4	20 時間
日本画表現	洞谷 亜里佐	前	火 4	20 時間
デザインワーク I	安部 泰	後	木 3	20 時間
人物画実習	洞谷 亜里佐, 伊藤 将和	後	集中	12 時間
彫刻表現 I	松尾 大介, 兪期天	後	木 5	20 時間
工芸表現（陶芸）	兪 期天	前	木 4	20 時間
球技	榊原 潔, 土田 了輔	後	火 4	10 時間
体操・器械運動	周東 和好	後	水 2	20 時間
水泳	松浦 亮太	前	火 1	20 時間
栽培法	山崎 貞登	前	木 3	20 時間
木材手工具加工法	東原 貴志	前	木 5	20 時間
木材機械加工法	東原 貴志	後	月 4	20 時間
電気工学実験実習	岡島 佑介	前	木 4	20 時間
保育学実習	吉澤 千夏	通年	集中	20 時間
被服製作の理論と実習	佐藤 悦子	後	火3.4.5	20 時間

博士課程学生

授業科目名	授業担当教員	学期	曜日 時限	担当時間数
SDGs時代の教育課程の編成・実施の実際	釜田 聡 他	前期	火 2	15 時間
国際理解教育の理論と実際	釜田 聡	前期	火 4	15 時間
総合学習カリキュラムデザイン	釜田 聡	前期	木 3	15 時間
SDGsに対応したワークショップの理論と実際	釜田 聡 他	前期	金 3	15 時間
国際理解教育入門	釜田 聡	前期	月 3	30 時間
中国語・中国事情	野澤 有希	前期	木 4	30 時間

④ ティーチング・サポーター
大学院学生

(令和3年度)

授業科目名	授業担当教員	学期	曜日 時限	担当時間数
国語（書写を含む。）	押木 秀樹 他	前	金 1	29 時間
社会	吉田 昌幸 他	前	火 5	13 時間
理科	小川 佳宏 他	後	月 2	29 時間
音楽	長谷川 正規 他	通年	月 6	12 時間
図画工作	松尾 大介 他	前	木 6	54 時間
体育	松浦 亮太 他	通年	火 5	41 時間
家庭	光永 伸一郎 他	前	月 2	18 時間
道德教育論	早川 裕隆 他	後	木 1	29 時間
特別活動論	高橋 知己	前	木 2	29 時間
算数科指導法	布川 和彦 他	後	水 6	29 時間
初等音楽科指導法	尾崎 祐司, 時得 紀子	前	火 2	29 時間
図画工作科指導法	五十嵐 史帆 他	後	木 6	29 時間
初等体育科指導法（Bグループ）	周東 和好 他	前	月 1	29 時間
初等体育科指導法（Cグループ）	周東 和好 他	前	水 1	29 時間
初等家庭科指導法	小高 さほみ, 佐藤 ゆかり	前	木 6	10 時間
小学校英語指導法	北條 礼子	前	火 4	29 時間
生徒指導論	安藤 知子, 稲垣 亮 顕	後	月 1	15 時間
教育相談・カウンセリング論	宮下 敏恵 他	後	木 2	29 時間
キャリア教育論	山田 智之	後	月 1・月 6	29 時間
日本国憲法	小島 伸之	後	水 1	29 時間
人権・同和教育	蜂須賀 洋一	後	金 1	29 時間
特別支援教育基礎	小林 優子 他	前	木 5	58 時間
特別支援教育概論	小林 優子 他	後	木 5	58 時間

⑤ リサーチ・アシスタント

(令和3年度)

任用期間	研究補助業務 担当時間数	研究プロジェクト等名	左の中心的組織名	研究プロジェクト 代表者
令和3年6月1日 ～令和4年3月31日	200時間	日中間「異己」理解・共生授業プロジェクト	学校教育方法連合講座	釜田 聡 教授